

範は、その生産水準を変えようとするリーダーの働きかけに抵抗として作用することを示唆している。

### 引用文献

- Azrin, N. & Lindsley, O. R. (1956) The reinforcement of cooperation between children. *Journal of Abnormal and Social Psychology*, 52, 100–102.
- Bany, M. A. & Johnson, L. V. (1964) *Classroom Group Behavior: Group dynamics in education*. Macmillan.
- Cartwright, D., & Zander, A. (Eds.) (1953) *Group Dynamics: Research and Theory*. Row Peterson. 三隅二不二(訳編) (1959)「グループ・ダイナミックス」誠信書房
- Cartwright, D., & Zander, A. (Eds.) (1960) *Group Dynamics: Research and Theory*. 2nd ed. Row Peterson. 三隅二不二・佐々木薫(訳編) (1969, 1970)「グループ・ダイナミックス」第2版 I, II 誠信書房
- Cartwright, D., & Zander, A. (Eds.) (1968) *Group Dynamics: Research and Theory*. 3rd ed. Harper & Row.
- Hollander, E. P. (1958) Conformity, status, and idiosyncrasy credit. *Psychological Review*, 65, 117–127.
- Jackson, J. M. (1960) Structural characteristics of norms. In G. E. Jensen (Ed.), *Dynamics of Instructional Groups*. Univ. of Chicago Press 末吉悌次・片岡徳雄・森しげる(訳) (1967)「学習集団の力学」黎明書房 Pp. 160–190.
- Jackson, J. M. (1965) Structural characteristics of norms. In I. D. Steiner & M. Fishbein (Eds.) *Current Studies in Social Psychology*. Holt, Rinehart & Winston. Pp. 301–309. 香山健一(訳) (1970)規範の構造的特質 田中靖政(訳編)「現代アメリカ社会心理学」日本評論社 Pp. 48–61.
- 城戸崎雅崇 (1972) 達成動機とリーダーシップの条件効果及び集団の業績規範に関する実証的研究 実験社会心理学研究 12, 108–112.
- Merei, F. (1949) Group leadership and institutionalization. *Human Relations*, 2, 23–29. 10 (2), 169–181.
- 三隅二不二 (1966)「新しいリーダーシップ」ダイヤモンド社
- Patchen, M. (1962) Supervisory methods and group performance norms. *Administrative Science Quarterly*, 7 (3), 275–294.
- Roethlisberger, F. J. & Dickson, W. J. (1939) *Management and the Worker*. Harvard University Press.
- Rettig, S. (1966) Relation of social systems to inter-generational changes on moral attitudes. *Journal of Personality and Social Psychology*, 4, 409–414.
- Rommetveit, R. (1955) *Social Norms and Roles*. University of Minnesota Press.
- 佐々木薫 (1963) 集団規範の研究：概念の展開と方法論的吟味 教育・社会心理学研究 4, 21–41.
- 佐々木薫 (1965) 集団規範の研究(II)：看護学院生の帰寮時刻に関する調査研究 教育・社会心理学研究 5 (1), 75–85.
- 佐々木薫 (1966a) 集団規範の研究(III)：生産水準規範に及ぼす課題遂行方式の効果に関する実験的研究 教育・社会心理学研究 5 (2), 189–199.
- 佐々木薫 (1966b) 欠勤に関する集団規範の研究 日本心理学会第30回大会 発表補足資料 →佐々木薫 (1994a)
- 佐々木薫 (1969) 寢の門限に関するインフォーマルな集団規範の変動 関西学院大学社会学部紀要 18, 29–46.
- 佐々木薫 (1970) 学生集団のグループ・ダイナミックス的研究(I)：吹奏楽部の集団特性と生産性との関係について 日本教育心理学会第12回総会 発表論文集 Pp. 308–309.
- 佐々木薫 (1971a) 集団規範 水原泰介(編)「社会心理学」(講座心理学13) 東京大学出版会 Pp. 197–246.
- 佐々木薫 (1971b) 集団規範の研究(IV)：集団のサイズとリーダーが規範変容に及ぼす効果の実験的研究 実験社会心理学研究 11 (1), 45–55.
- 佐々木薫 (1971c) 規範形成に及ぼす制裁の効果に関する調査研究：カンニング事件による自然実験 関西学院大学社会学部紀要 23, 79–90.
- 佐々木薫 (1973) 「組織の発展をめざして：現状と問題点」 神戸市消防局
- 佐々木薫 (1982) 集団規範の変化に関する研究 三隅二不二・木下富雄(編)「現代社会心理学の発展」ナカニシヤ出版 Pp. 151–178.
- 佐々木薫 (1994a) 欠勤に関する職場規範の調査研究 関西学院大学社会学部紀要 70, 71–88.
- 佐々木薫 (1994b) 欠勤および遅刻に関する職場規範の調査研究：都市消防の事例研究 関西学院大学社会学部紀要 71, 45–68.
- 佐々木薫 (1995a) 出席及び遅刻に関する規範と集団の成績：吹奏楽部と洋弓部の調査研究 関西学院大学社会学部紀要 72, 73–90.
- 佐々木薫 (1995b) 出席及び遅刻に関する規範と集団の成績(II)：大学野球部の調査研究 関西学院大学社会学部紀要 73, 13–24.
- 佐々木薫 (1998) 監督者、生産水準規範、および集団生産性 関西学院大学社会学部紀要 79, 35–49.
- 佐々木薫・山口真人 (1971) リーダーシップ・タイプが